初等教科教育法（社会）　　堀田 諭

※実務経験のある教員による授業科目：単位数２

授業概要

本講義では、①社会科の目標や多様な社会科授業の歴史的・理論的検討を踏まえて、自己の社会科授業観を構成し、②社会科学習指導案の作成および模擬授業の実践を通して、社会科教師の実践的な資質を養うことを目的として講義する。具体的には、パート１では、社会科の目標やその歴史を検討しながら、社会科の特質を明らかにし、合わせて自己の社会科授業観について構成する。パート２では、実際に社会科授業の活動を体験することを通して、社会科の学習過程や問いのあり方について検討する。パート３では、社会科学習指導案の作成方法を概観し、思考ツールを用いて社会科単元をグループで分析・発表する。パート４では、個人で本時案を構想・実践し、授業改善に向けて協議会を実施する。他者との協議を通して、指導計画と実践との違いを認識し、実践の修正につなげていく。以上を踏まえて、自己の社会科授業観を再構成し、現場での実践につなげていく。

授業計画

第 1 回	社会科の目標と特質――被教育体験のふりかえり①
第 2 回	身近な地域の「地図」から社会科授業へ――「問題解決」的な社会科；第３学年
第 3 回	社会科単元のつくり方①社会科教材研究と社会科授業の実際　　※外部講師講演予定
第 4 回	小学校社会科副読本の分析――「問い」に着目して学習過程を検討してみよう；第４学年
第 5 回	評価課題を作成し、小単元を分析してみよう――第５学年「国土学習」単元
第 6 回	思考ツールを用いて中単元を調査・発表してみよう――第５学年「産業学習」「環境」単元
第 7 回	社会科教材研究①地理院地図で地元の災害リスクについて調べてみよう；「自然災害」単元
第 8 回	社会科教材研究②Google Earth で世界旅行をしてみよう「国土・領土」「国際」単元
第 9 回	社会科教材研究③地図や写真で地元の変化について調べてみよう；「地元の変遷」「政治」単元
第 10 回	学習指導要領の変遷とさまざまな社会科授業のカタチ――社会科教師の主体性と多様性
第 11 回	社会科単元のつくり方②学習指導案の構成と学習評価
第 12 回	本時案の構想・実践と協議会①――第６学年「政治」単元；授業分析の視点と方法
第 13 回	本時案の構想・実践と協議会②――第６学年「歴史」「国際」単元；協議会・研修の作法
第 14 回	本時案の構想・実践と協議会③――授業改善に向けた協議会運営と省察
第 15 回	自己の社会科授業観の再構成――指導計画と実践の違いの検討（ふりかえり②）
第 16 回	筆記試験

到達目標

・理論的・実践的な検討を踏まえて、自らの社会科授業観を自覚しながら学習指導案を作成することができる。
・小学校社会科の目標・内容の意図を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。
・授業改善の研修の作法を通じて、自己や他者の社会科授業を検討することができる。

履修上の注意

講義の中で紹介する関連文献を読んだり、複数の出版社の教科書を比較・検討したりして、社会科の内容や全体像を捉えていってください。なお、学外施設の調査があることも考慮しておいてください。

予習・復習

以下の参考文献のどれか一つを読んでおくことが望ましいです。また、基本的には授業外の時間を使いながら、各自・各グループの教材研究や学習指導案の作成をしていくことになります。教育実習までの貴重な分析・実践のチャンスを最大限生かしていきましょう。

評価方法

・筆記試験：40%
・学習指導案・単元プランの作成と発表：30%
・各回の活動や議論、ふりかえりシート：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）.『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説社会編』日本文教出版.
参考文献：原田智仁（2022）.『初等社会科教育の理論と実践―学びのレリバンスを求めて―』教育情報出版.
澤井陽介・中田正弘（2021）.『実践・小学校社会科指導法』学文社.
大澤克美（2019）.『小学校社会科教師の専門性育成（第三版）』教育出版.
社会認識教育学会（2019）.『小学校社会科教育』学術図書出版社.